花間蛍傳

第二編

花間蛍

鮮齋永濯画

假名垣魯文和解

出版人辻岡屋文助

特42
909

格蘭氏傳

倭文賞

貳編

上之巻

假名垣曽文和解

鮮齋永濯畫

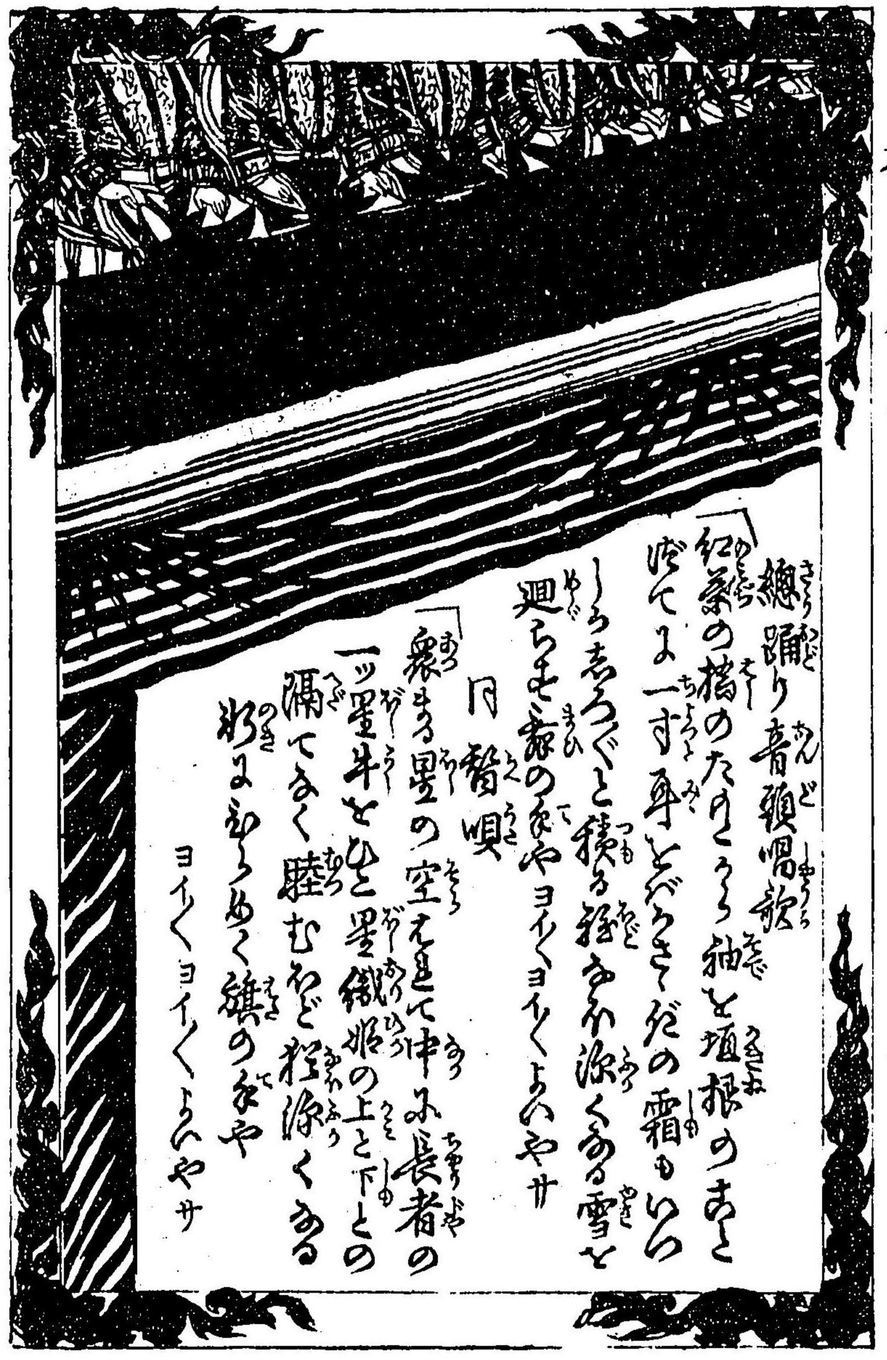
金松堂壽梓

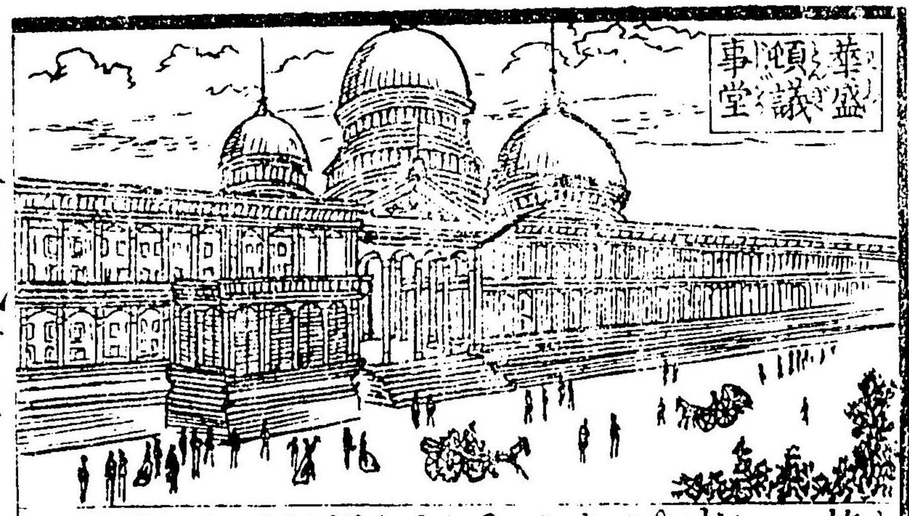
膻肉の在る所ろ群蟻集り正義のそすろ所ろ德望隨ッて帰そと空るる哉米國前大統領克蘭度君い身剪小の下ろり掘起り其國を波瀾の倒さざるゑ支へ武功成以て名と顕ー文德と以て望みを收め其威德と勲績を終始一ゑ保ちーい所謂功成名遂て身退くの高士と称べー今や君の我帝國大日本ゑ来遊せろと辱けるへー民庶厚く君と歓待ーく措ざるい實ゑ明治十二年の夏七月ろり茲ゑ君の德望と欽慕の餘り我社翁ゞ例の強記繁纂炎暑と顧ずと和解の華記を聊ろ助けて文華ゑ一葉と添ゆる而已

假名讀社中　若菜貞爾

出端の圖之

口繪
國政補筆
格蘭度君饗應新富劇場藝妓總踊花道

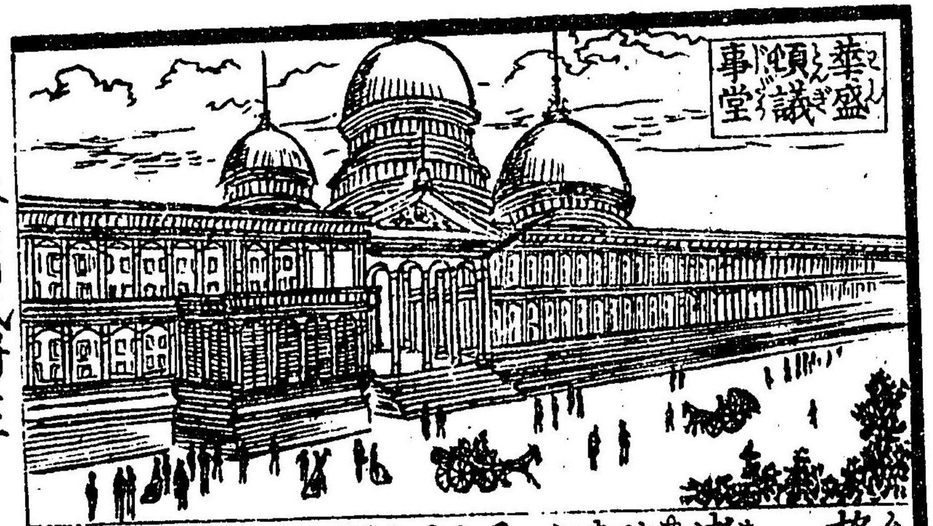




格蘭氏傳倭文賞二編上之巻

大日本　假名垣魯文和解

倩もグランド君の進軍ハ六月一日南軍を討破りて東より進ミジャクソンより出向ふ敵と行あひて再びさきと八方ゑ退崩し全勝ひみてジャクソンゑ押かけ五月月十四日遂ゑ此地と陷し入き敵を粉のごとく打ちくし心の程ゑ勝を得てその日ハ「ミシ、ッピー河を引揚て翌十六日再び南軍と進ミらんとチャンピオンピルの地ゑて南軍の將と戈ヘーベンポルトンの兵と破り翌十七日黑河搖ゑ陣をとる又も南軍と破りくゞ南北の



格蘭氏傳倭文賞二編上之巻

大日本　假名垣魯文和解

備もグランド君の進軍ハ八月一日南軍を討破りて柬ヨ進ミジャクソンより出向ふ敵と行あひて再び去ると八方ハ退崩し壬勝ひみてジャクソンハ押かけ翌日月十四日遂ヨ此地と陷し入る敵と粉のごく打ちくし心の経ハ勝と得てその日ハ「ミシ、ッピー河を引揚て翌十六日再び南軍を進ミらうへしペンポルトンの兵と破り翌十七日黒河の搦み陣をとり又も南軍と破りしく南北の

つゞく

つゞき

勢ひ折挫けてさしも勇あるペンポルトンのうちつゞきての敗軍の心あるゝぞもおりくと打退き十八日のビッグスポルグまで退つゝ城のうちのぞ

処の城出でうまたや敵い籠城ぞや堡塁の迫

又て勝敗と一時の決せよ者どもと契しく指揮を待くーうど敵いつゞかて出まれば用ざるーた勝利ゆゝ此月いあひらよりた揚て休戦とて成ゆる是より此月五月より

▲ポルトンも今いたやまぐきゆう甚将士二万一千六百余人と辛て城と用ざ一七月ゆ

二月と絶て又大軍とう卒ゆ朝攻寄いくさ蹟の別なく息も絶ゲせぞ傲慢ゆ

みまと探るちゝう攻ゆ南の兵士八

▲二万二千の兵士を失ひ八千余の隊兵を生捕まれべペン▲

敗ゆ敵千とう敗と知ゝぞ此勝利より

ゆ集ゆぞ出ゝう

ゝる

代洗の戦ゝひ

出ゆ

軍も亦

八千八百七十三人の手

負付死あり

ゝど敵の大砲

小洗より兵糧弾ぞゝの分

つゞく

つゞき 海軍と相ひ
うちせらるゝの防げ
なく南軍の跡この
地を絶へ軍の通
絶さらるなくグランド
君此功しを賞せの
都督ふ中り十月十六日
要ふこシンツピーに
全軍の指令長官
ふそこと挙らまそ
和をもちふ含くかを
且へ生ま一故郷の云城

▲連日
烈しく攻立
ちまち城内迫しと関よりグランド君大
きゝ驚き元の金軍と位してチャダノガと
援けんと彼処とさして出陣せしふ十月廿七日
ルックアウトバルレーにて南軍と会戦し終つ
迫しの敵の中南軍の群る絶へふ軍勢
云大小砲と雨あるまと打立くて統絶をうへて突いて
入る勝ひ電光の如くあく南云とふ敵し雑く
いろあ元立を小軍ハ角へ角へ
やまくと味方の死地を義生ら せり〇初て十一月
廿三日グランド君の総軍ハ再びチャタノカをを

ひへ尚所在の土地の云
清及の云も悉く君の
さみふ渡ひて水と色との
やく多此所チャダノガと
いる地を守る味方の
云ハ南軍の
ふ取
囲まるを▲

つゞきうつの南軍も赤ちぐうと拵めひと是も
退ぞ連戦二昼夜いづれとも勝負なきのつゞとを敗
とも分ざりしみ廿四日のあくるき方み
一度
烈しく攻うつの敵
云頗る損傷
ものもと夜ぞと
左右を
突崩し
其一文
宗の孤
是を敗ぐ是と敗て

陸軍大都督グランド氏

▲アルカニーの西部みるて大ひみ
北軍と拵げる南部の名将も
▲悲く
崩れ
敗じ又
チョルジヤの
地方も
で北軍の掠る
処ろと分れり

ブラックも僅みその外と進うとさろ此戦ひ
南軍は方五千の内を負死人二千五百人
みて北軍は方五千人
内死傷六千六百十六人逃ホ
全勝と得るとうゞも
攻るとちるの勝ひと
異ホーて北軍大ひホ
敗ぞと損ドるい
軍の掠ひと云う
ともう 鎮ぞも生捕又千
人の上大砲四十門と奪ひーよう 旭月の
界る掠ひるとべ南軍とホ死と奪ぞ

北軍士官

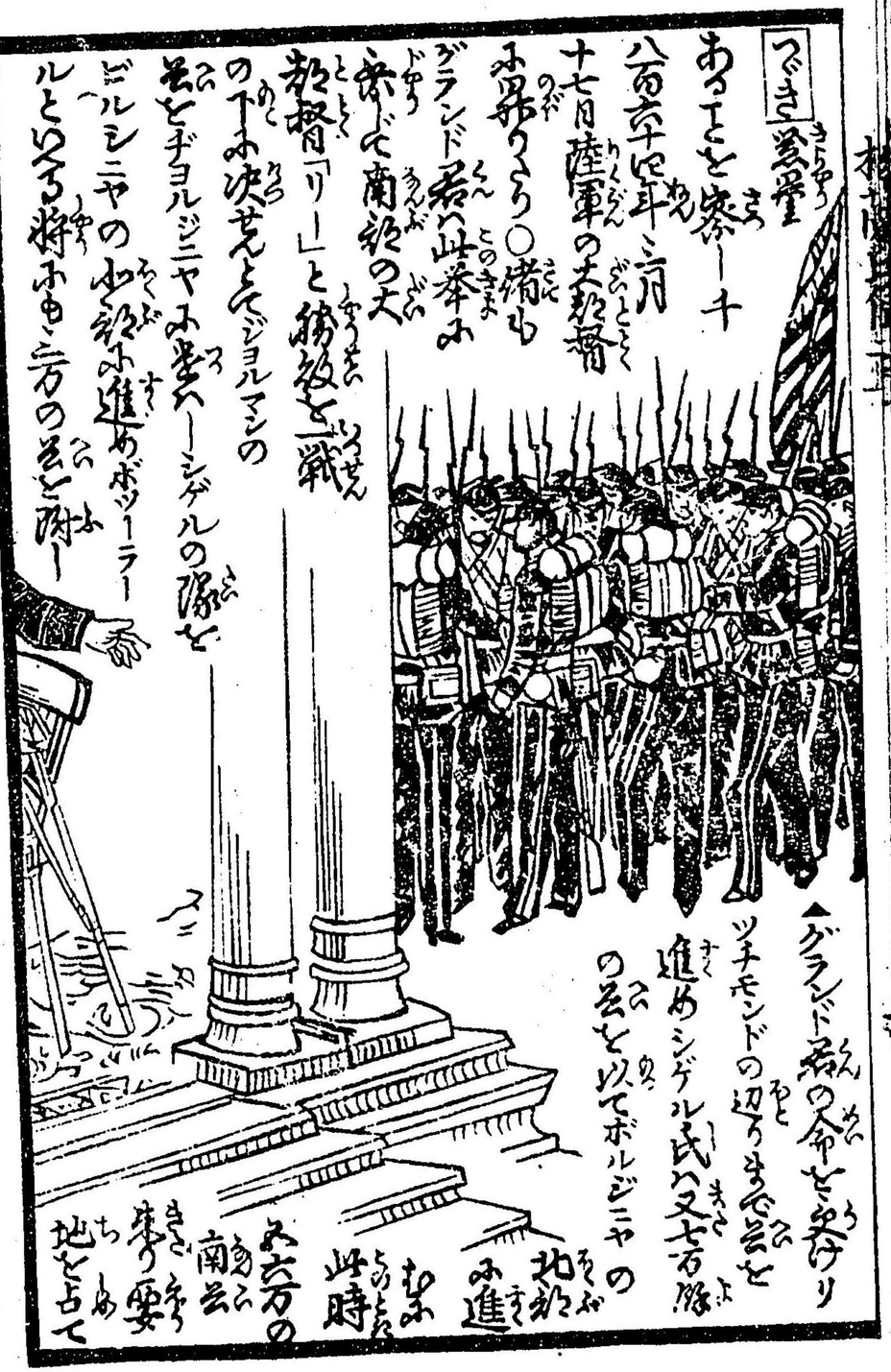
グランド君の形
のごとく国のみ
力と尽ーうち又
又続て
勝利と
追ふ安

①と奏するふ勝ーうべ人ぞる
は名ぞを一国の指揮と任せ

つゞき　巻畫

あることを察し一千八百六十四年三月十七月陸軍の大統督ゆふ帰りて○備もグランド君へ此挙みを余じて南部の大統督「リー」と勝敗を戦の下ゆ決せんとてジョルマンの兵とヂョルジニヤみ巻へーシゲルの際をビルシニヤの少部ゆ進めボツーラールといふる将ゆも二方の兵と附ー

▲グランド君の命を受けリッチモンドの辺りまで兵と進めシゲル氏へ又七方隊の兵と以てボルジニヤの北部へ進みゆふ此時ゆ六方の南兵を集り要地と占て



リッチモンドの地を付ゆ君へ二万の大兵と率ゆ六月四日ラビダレゆの及びヂヱームスゆの辺境みてリーと会戦を交へんとせもく奮戦督リーグ率る兵ボルジニヤ少部の精兵ゆ二十数七方人千いづれもさんの新兵とべ尾も鍛せぎ強くとゆふ少軍ゆ突撃り到るしくもゆへて攻る兵隊のごとく敵兵と闘ゆ見敵七戦ゆ将ボツトラール氏へ

▲南部大将リー

防ぎ戦へシゲルへ弱んど攻めぐ兵備へ

ゆも又奮へ勝利なく中ゆもグランド君グ為るリーの兵へ号令ゆ

そろゆて

つゞき

進むも
退くも
法みを
適ひ
強く勇ま
しくよく戦ふ

▲みぞ
きもの
ゝ軍もヂヱームスゴの

▲浦地ゴ將軍ーー悪耐羅雅幸若と
經て満身のちからを尽ーー一過一進
ちつとも撓まず是ゴ蘭ゴ人ーーが
武衛ゴ人ゴ退ぞくさゴ人ゴ者ゴリーー
ゴ云解散ゴ人ゴ根拠是ゴ景況を
敵ゴ云ゴ者ゴ人ゴ一ゴ敵ゴ下の
將ゴ之ゴ示ーーゴ戦ゴひと
勉ゴ人ゴ此ゴ北將ヨルマン氏ゴ
ゴ繕ゴ傷ちアメラン
夕ゴ進ゴ人ゴ同將
シダル氏ゴビルヂ
ニヤゴ傷ゴ

ゴ畔ゴ人ゴ者ゴ
ゴ者ゴ人ゴ傷ゴ
者ゴ人ゴ死ゴ
ゴ者ゴ人ゴ敵ゴ
者ゴ人ゴ人ゴ
ゴ者ゴ人ゴ
ゴ軍ゴ人ゴ
ゴ人ゴ
ゴ人ゴ

つゞき 代りて諸隊を督し再びリッチヨンガルゴに進たるふ此にの南兵いその勢さを頗ぶるまるどく勝ちをとりたるハントル氏も忽ちうち敗け退陣し華盛頓翁のワシントンが為よ和兵隊と戦ふ勝利を得て之より南軍勝利を得て大将リー氏も拾ふ氣の喧盛る

思ひを色にあらはしみヨールリー氏とせうまんと身を抜いて むるみ此事遠くもグランド君の耳み入り君よみ將セリダン氏の兵を以て来によ君もみつ敗走の刎しに戦ひみそやうやくヨールリー氏を追ひとり私を軍ハチヨーム河の表岸みとりでを據へリッチモンドの地と固めど南軍ハおそるゝ百方防ぎみ心を刎ひ且云敵淫茶を運ぶ処ろの鉄道ハ南地へ あまべ敗ハ敵み囲まるゝ

つづき

さまでの困難も見へざりし

官許 朝鮮牛肉丸

官許 天恭丸

出願御届明治十五年七月廿三日

假名垣魯文

地本問屋 錦絵問屋 岡本勝